



## ブタの鼻はどうして大きいのか

### ブタの先祖は鼻の大きいイノシシ

ブタの先祖は、野性のイノシシです。人間が長い間かかって、肉がたくさんとれて早く育つ、今のブタにつくりかえてきたのです。イノシシの鼻がもともと大きいので、ブタの鼻も大きいといえます。

野生のイノシシは、鼻をたよりに生きています。大きな鼻で、地面の中にあるミミズや昆虫の幼虫、イモ類やおいしそうなたけのこ、球根、根っこなどを探しあてます。そして、こんどは、大きな鼻をスコップがわりにして、土をほり、うまくえさをほり出すのです。だから、大きくてがんじょうな鼻は、生きていくのに大切な道具なのです。

### 高級料理の材料トリフは、ブタの鼻で探す

ブタの鼻は、ただ大きいだけではありません。イヌに負けないぐらい、においをかく能力がすぐれています。高級なフランス料理に使われるトリフというキノコは、完全に地面の中で育ち、人間には見つけだせません。そこで、森の中にブタをつれてゆき、においで、トリフを見つけてさせています。（監修・今泉 忠明）

